

伊豆大島学生ボランティア活動報告

Report of Izu Oshima student volunteer activities

永吉 英記

Hideki NAGAYOSHI

平成25年10月15日から16日にかけて、関東の東海上を通過した台風26号に伴い、関東の広い範囲に記録的大雨が観測されました。特に伊豆大島では、24時間雨量が824mmに達し、土砂災害により甚大な被害が起きました。

国士舘大学では、伊豆大島土砂災害に対して、10月28日から11月14日までの18日間、国士舘大学学生ボランティアによる被災者支援活動を実施しました。参加したボランティアと活動期間を表1、参加人数と活動場所及び活動内容を表2に示します。参加した学生数は22名。被災者のために、「少しでも力にないたい」と授業の合間を縫って現地を集まり、住宅敷地内や床下の泥出し作業やガレキ撤去を中心に作業を行いました。参加した4年生の感想を下記に示します。

【学生ボランティアに参加した4年生の感想】

私は、伊豆大島の災害ボランティアに約半月参加した。現地に入って、状況確認を行うと港にはあるはずのない大きな丸太がたくさん横たわっていた。また、雨が降り始めて数時間経つと道路が冠水し、宿舎の近くの空き地を川のように流れていた。こんな状況を今までに目にしたことがなかったため驚いた。私たち一般のボランティアの行う作業は、主に泥の掻き出しや家財出しなど重

機では行うことのできない作業だった。グループを作って作業を行ったが、そこにはいろいろな団体や職業、各地の災害地について活動を行っている方がいて、みんなの力や知恵が合わさって活動を行っていたため学ぶことが多かった。ボランティアの参加者も土日になると一気に増えていた。しかし、毎日すくない人数で少しずつ作業でもお宅には引き続いて活動することに喜んでいった。これは、大学のような団体にしかできないことである。そして家族の方からの「ありがとう」「ご苦労様」の一言がとても温かく、深い意味を感じた。災害はあってはならないものではあるが、災害地でしか味わうことのできないものを今回多く感じた活動であった。

10-2A243 寺田 好孝

台風26号の直撃を耳にし、「何か自分でもできることはないか」と考え伊豆大島への災害支援ボランティアに参加することを決意。参加初日（5日）から家屋内に入った土砂の撤去活動に参加。他のボランティア団体と協力し合いながら、敷地内の土砂の撤去整理を行う。翌日（6日）。早朝に災害ボランティアセンターに行き、当日の活動場所をマッチングで分配。自分たち大学生グループのほかには、市のボランティア団体や大島で活

動しているダイビンググループ、被災地・災害地に積極的に赴くボランティア団体が参加していた。各ポイントごとに就くリーダーには、東日本大震災の石巻ボランティアでも活躍していただいたプロや大工の方々が、行いポイントごとでの必要機材や活動方法を見極め指示を出していただいた。7日は、午前中は悪天候により中止。悪天候時には基本的には活動をしていないという。午後は、活動ポイントに分かれ活動。8日は、午前中には6日と同じポイントにて撤去作業に専念。午後の便で帰宅。

10-2A175 佐々木 剣斗

土砂や木石などによって半壊・全壊してしまった民家や店などが多く目につき、そうでない家も見ただけは何ともない様に見えますが、床下は土砂で埋まっている状態でした。島のいたる場所で災害被害の爪痕が見ることができ、また島民の方々からも災害の恐ろしさなどを聞き災害後の大変さ

を思い知りました。その様な状況を知り、多くの方が朝からボランティアセンターに集まり復興のためにみんなで協力しながら活動している状態に「すごい」と感じつつ自らもできることを精一杯やろうと活動しました。活動する中で、島民の方々や他のボランティアの方々といろいろな会話をしたり、作業のやり方を教えていただいたり、日によってはグループの指示を任せられたりと貴重な経験をさせて頂くことができました。今回のボランティアでの経験を大切に、今後どこかで今回のような活動をする時の役立てていけたらと思います。

10-2A251 城井 翔三

私は、大島に第5班として11月11日から14日までの4日間滞在し、ボランティアに努めました。第5班ということで、国士舘大学が担当していた現場に着くとすぐに作業が始まりました。4日間で行ったことは、家の床下に溜まっている土砂を

表1. ボランティア参加者と活動期間

	学籍番号	氏名	現地活動期間
1	10-2A175	佐々木 剣斗	11/5-11/8
2	10-2A243	寺田 好孝	10/28-11/1.11/5-11/14
3	10-2A251	城井 翔三	11/10-11/14
4	10-2A275	西川 純平	11/11-11/14
5	10-2B085	御子柴 大平	11/2-11/5
6	11-2A092	成田 拓郎	11/11-11/14
7	11-2A139	藤本 将太	11/8-11/10
8	11-2A143	沼田 学	11/11-11/13
9	11-2A168	猪瀬 陵	11/5-11/8
10	11-2A173	加藤 泰紘	11/2-11/4
11	11-2A209	上村 剛司	11/5-11/8
12	11-2C036	平田 雄也	11/11-11/14
13	11-2C096	武田 唯	11/11-11/14
14	12-2A196	額賀 将	11/2-11/5
15	12-2A202	小谷 充	11/2-11/5
16	12-2A204	久延 京平	11/2-11/5
17	12-2A206	塚本 真	11/2-11/5
18	12-2C032	川瀬 祐太	11/3-11/10
19	12-2C134	須野原 慶	11/3-11/8
20	13-2A168	久岡 涼介	11/3-11/4
21	13-2A175	土方 翔太	11/3-11/4
22	13-MD018	田熊 さやか	11/7-11/8
引率者	教務助手	曾根悦子	11/11-11/14
引率者	体育・防災総研	永吉英記	10/28-10/29.11/1-11/4.11/9-11/10.11/13-11/14

外に出すこと、土嚢を作って雨水の通り道を確保すること、使えなくなった家具を家から運び出すこと、家の庭にある池の水を抜いて土を入れて埋めること、家を災害前に近づけるよう家の中や外を綺麗にしていく等の重作業をしました。

これらの作業を通して、また、災害を受けた方や一般のボランティアの方と関わり、災害による恐怖・悲しみ、ボランティアの重要性等、多くのことを感じました。また、まだまだ爪痕が残る場所も多くあり、剥げている山、土砂の力によってコンクリートが道に出っ張った家、陥落した道、それらによる感じるものは、現地に行かなければ感じようのないものだと思います。このような経験が出来たことは、将来何らかの形で自分にプラスに働くと思います。

10-2A275 西川 純平



伊豆大島の土砂災害では、未だ行方不明の方がいらっしゃいます。また、愛する人や家族、親戚などを亡くされた方が多くいらっしゃいます。心からご冥福をお祈り申し上げます。

表2. ボランティア参加人数と活動場所及び活動内容

活動日	活動人数	活動場所	内容
10月28日	2	元町	・受け入れ準備・現地視察・庭の泥掻きだし
10月29日	2	元町	・受け入れ準備・現地視察 * ボラセン活動中止
10月30日	1	元町	・庭の泥掻きだし・土嚢作り
10月31日	1	元町	・資器材の引き取り(岡田港)・庭の泥掻きだし
11月1日	3	元町	・泉津地区視察
11月2日	7	元町	・庭の泥掻きだし・土嚢作り・泥出し
11月3日	11	元町	・家財だし・倉庫の泥掻きだし・庭の泥掻きだし・自動車移動
11月4日	11	岡田地区	・家屋内の床剥がし・床板切り・床下泥かき・家財出し
11月5日	11	泉津地区	・庭の泥掻きだし・床はがし・床下泥かき
11月6日	7	泉津地区	・家財出し・床はがし・床下泥かき・土間の泥掻きだし・家周り洗浄
11月7日	8	元町	・午前中ボラセン活動中止・床はがし・畳はがし・床下泥だし・床下泥掻きだし・家財出し
11月8日	10	泉津地区	・家の周りの洗浄・床下泥かき・床下潜り・庭の泥掻きだし
11月9日	5	泉津地区	・水道管復旧・家財分別・家財捨て・床板洗い
11月10日	7	泉津地区	・床下石灰まき・床はり・家財磨き
11月11日	6	泉津地区	・家財移動・床はがし・床下泥出し
11月12日	9	泉津地区・元町	・土嚢作り・雨対策・庭の泥掻きだし・床下潜り・池の水だし
11月13日	10	泉津地区・元町	・池埋め・池の水だし・庭の泥掻きだし・土嚢作り
11月14日	10	元町	・家財運び出し・資機材発送手続き・土嚢づくり・庭の泥掻きだし